

# 釧路地域の森林資源活用方策の検討

## 現状

- ・ 資源の充実(一般民有林人工林 12.9 千 ha うち市有林 2.5 千 ha。一部主伐期)(合併後の森林率は、総面積の74%)
- ・ 道東地域の短期経済観測(業況判断 DI)で木材・木製品は、H22.6 現在▲40 と低水準。製材品は梱包用材を中心に増産が続く(日銀釧路支店「道東地域の金融経済概況」H22.9.9)
- ・ 新たな利用の動き(市有林材を活用した室内練習場設置)
- ・ 阿寒国立公園や釧路湿原国立公園をはじめとした豊かな自然環境(エゾシカ被害)

### (新たな国の動き)

- ・ 「森林・林業再生プラン」にもとづく林政改革(目指すべき姿:10年後の木材自給率50%以上)
- ・ 「公共建築物等の木材利用促進に関する法律」(5.26 公布、10.1 施行)

## 取組内容(案)

○ **市役所円卓会議**

- ・ 主な検討内容  
資源の現況等把握、市有林の活用、公共施設等での利用、今後の方針
- ・ メンバー  
農林課、地域振興課(音別)、建築課、産業推進室、商業労政課、企画課ほか

○ **釧路森林資源活用円卓会議**

- ・ 主な検討内容  
釧路市有林の有効活用策  
地域材利用の拡大策
- ・ メンバー  
森林組合、林業事業者、建築事業者、設計事務所、研究機関、農協等  
\*必要に応じて、川上、川下の部会を設置、具体的な検討  
(オブザーバ:釧路総合振興局、北海道森林管理局 根釧西部森林管理署)

## 検討の方向

- ・ 森林資源・施設現況等の情報把握
- ・ 公共施設等での木材利用推進策
- ・ 市有林の活用方策(公共施設での利用等)
- ・ 今後の木材活用方針の検討

- ・ 木材利用の課題整理(販売戦略,製品戦略,価格戦略等)原料の安定確保など
- ・ 木材利用の拡大策検討  
先進的な取組の釧路への適用

○ **木材生産(川上)部会**

- ・ 主な検討内容  
コスト削減に向けた方策、釧路の地域特性に応じた施業方法

○ **木材利用(川下)部会**

- ・ 主な検討内容  
木材利用拡大策,消費者ニーズにあった製品や付加価値の高い製品